

第97回教育研究評議会議事概要

日 時	平成24年10月12日（金）13時30分～14時45分
場 所	事務局大会議室
出席者	中村（議長）、中村（慎）、山崎、生田、柘植、前田、横山、村上、松本、櫻井（武）、上田、山根、前川、岩見、井関、山本（健）、早川、大竹、松下、鏡味、加納、宇都宮、向田、富田、柴田、澤田
欠席者	櫻井（勝）、中村（正）、川幡、福森、玉井、山本（博）、青木、笠井
陪席者	古川、有松、鈴木、石原、三浦、西山、市村、宮坂、廣田、森本、大久保、西谷、中村（裕）、池本

議事に先立ち、新任学長補佐（平成24年8月1日付）から自己紹介があった。

1 前回議事確認

第96回教育研究評議会（9月14日開催）

2 協 議

（1）名誉客員教授候補者

議長から、金沢大学名誉客員教授称号授与規程について説明があった後、財務・附属病院・同窓会担当理事から〔資料1〕に基づく説明と附属病院長及び医薬保健研究域長からの補足説明があり、審議の結果、承認された。

3 報 告（1）

（1）教員人事

議長から、〔資料2〕に基づき報告があった。

（2）平成24年度大学院入学者数等（10月入学）

教育担当理事から、〔資料3〕に基づき、平成24年度大学院入学者数等（10月入学）について報告があった。

（3）研究論文に着目した日本の大学ベンチマーキング2011〈金沢大学の現状がベスト版〉

研究・国際担当理事から、前回の教育研究評議会の報告事項「研究論文による大学別ベンチマーキング2011抜粋（金沢大学分）〔資料1-2〕」の訂正について〔資料4-1〕に基づき説明があった後、〔資料4-2〕に基づき、前回より詳細なデータと分析結果について説明があった。

(4) 平成24年度公募事業一覧（金沢大学機関申請分）

研究・国際担当理事から、〔資料5〕に基づき、平成24年度公募事業一覧（金沢大学機関申請分）について報告があった。

また、議長から、博士課程教育リーディングプログラムの複合領域型（多文化共生社会）『文化型資源マネージャー養成プログラム』（人間社会環境研究科）が採択され、来年度は、自然科学研究科及び医薬保健学総合研究科においても採択できるよう目指したい旨の発言があった。

(5) 特許等実施許諾契約

研究・国際担当理事から、〔資料6〕に基づき、特許等実施許諾契約（平成24年9月末現在）について報告があった。

(6) 大学間交流協定の締結

研究・国際担当理事から、〔資料7〕に基づき、本学とスマラン国立大学、ブラウイジャヤ大学及び湖西大学校との大学間交流協定の締結について報告があった。

(7) 教員の雇用上限数

議長から、〔資料8〕に基づき、教員の雇用上限数について、次のとおり発言があった。

- ・第1期中期目標・中期計画期間は、運営費交付金（特殊要因経費等を除く。）が年0.67%削減されてきた。
- ・民主党政権に代わっても、運営費交付金は毎年1%削減されていたが、学年進行や給与削減支給等を踏まえて、平成22年度から教員の削減は実施しなかった。
- ・しかしながら、平成25年度以降も、運営費交付金の削減が想定されることから、雇用上限数の削減を実施しなければならない状況となっている。
- ・このため、雇用上限数は、特定教員の予算の減額分を教員全体の予算で除して算出された数値0.35%をもって減ずることとし、平成25年度から平成27年度3年間で人間社会研究域2人、理工研究域2名、医薬保健研究域3名を削減する。
- ・学長任期期間はこの内容で実施する。ただし、次期学長が見直すこともあり得る。
- ・病院は、収入を得る機能を十分確保する必要があることから、雇用数は確保する。ただし、配分する運営費交付金については、人件費相当額を削減し、不足額は病院収入で補うこととする。
- ・今般の政権の状況等に対応するため、可能な限り、平成24年度末の各研究域1名の欠員補充の留保をお願いしたい。なお、個別事情があれば相談されたい。

(8) 平成24年度「研究費等の適正な使用に関する説明会」の実施

財務・附属病院・同窓会担当理事から、〔資料9〕に基づき、平成24年度「研究費等の適正な使用に関する説明会」の実施について説明及び所属職員への周知徹底と出席への配慮について要請があった。

○第98回教育研究評議会 11月16日(金) 13時30分から